

「シンプルな仕組みで利便性と安全性を
両立できる技術として評価しています」

としてZENMUを採用した「グローバルセキュアデータ転送サービス」をリリースしました。

例えば、製造業などではファイルサイズが数百MBにもなる設計データをやり取りしなければなりません。しかも、やり取りは国内だけでなく、海外拠点との間でも頻繁に発生します。

海外には、ネットワーク環境が脆弱なところも多く、大容量ファイルのやり取りに時間がかかることが業務を圧迫しているほか、セキュリティ面では、暗号化が規制の対象になり、転送できない国や地域もあります。

それに対してグローバルセキュアデータ転送サービスは、高速データ転送ソフトウェアとAmazon Web Servicesのようなパブリッククラウドサービスを組み合わせて、データを細かいピースに分割し、大容量データの高速転送を実現。さらに、ここにZENMUを組み合わせて、情報の保護も同時に行っているのです。

ネットワークやクラウド内を流れている間、データは常に無意味化されているため安全性が高く、先に述べたよ



三井E&Sシステム技研株式会社 代表取締役社長 **森重 利文氏**

うに暗号化が規制されている国や地域との間でも規制の対象とはなりません。

桔梗原 サービスの反響はいかがでしょうか。

帆足 秘匿性の高いデータを転送するために高額なコストをかけて専用線を導入するなどしてきた企業も多く、低コストで安全かつ高速にデータを転送できるサービスなら、と多くのお客様から引き合いをいただいています。既にPoC(概念実証)を完了したお客様では、本格利用も始まろうとしています。

また、多くの日本企業が拠点を構えている東南アジアのある工業団地では、複数の日本企業が連携して、間接業務基盤のシェアードサービス化を進める

動きがありますが、そのなかで、グローバルセキュアデータ転送サービスを標準サービスとして共同利用できないかと検討されています。

**シンプルな仕組みだから
人に依存せずに安全を担保できる**

桔梗原 三井E&Sシステム技研(旧：三井造船システム技研)も新たなサービス開発を進めているそうですね。

森重 当社の前身は、三井造船(現：三井E&Sホールディングス)のシステム事業本部です。船舶に関する制御システムのハードウェアやソフトウェアの開発を数多く手掛けてきました。現在では、その技術をベースとしてグループ内外のお客様に様々なITシステムやソリューションを提供しています。

そうした取り組みをさらに推し進めるために、ZENMUを活用したメールセキュリティソリューションの開発に取り組んでいます。

メールの添付ファイルを暗号化したり、圧縮したりするソフトは多数提供されていますが、ほとんどが送信側にも受信側にも余計な手間を要求しており、利便性の面では課題を抱えています。

ZENMUを使うことで、メールの安全性と利便性を高められるのではないかと

「パートナー様と共に、
ビジネス革新、安全な社会の実現に貢献したい」



株式会社ZenmuTech 代表取締役社長 **田口 善一氏**

と考え、現在、検証・開発を進めています。細かな仕様は詰めの段階に入っていますが、基本的にはユーザーの操作を最小限にして、メール送信と同時にZENMUによって秘密分散を行い、受信者側でも自動的に復元されるような仕組みを目指しています。とはいえ、誤送信のリスクはついて回るため、誤送信をさせないようなユーザーを支援する仕組みを付加したいと考えています。

桔梗原 開発に着手したきっかけは何だったのでしょうか。

森重 お客様および社内の情報共有に課題を感じていたことがきっかけです。当社のSEは、お客様の現場に常駐して作業をすることも多い。扱う情報の中には、非常に秘匿性の高いものがあります。

これまででは、情報共有のために特別なストレージサービスを構築し、アクセス権限や利用時間を限定して第三者に情報が渡らないようにすることで、セキュリティを担保していました。しかし、運用が煩雑で使い勝手に課題を抱えていたのです。

運用の煩雑さは、ともすればセキュリティ上の脆弱性となりやすい。そこで、先に紹介したようなセキュアなメールによるデータの受け渡しを実現したいと考えたのです。

桔梗原 御社はZENMU製品の販売パートナーでもあります。なぜZENMUに目を付けたのでしょうか。

森重 企業の情報セキュリティが問われる時代に、ZENMUのデータを無意味化するという独自技術の安全性に加えて、仕組みがシンプルなことを評価しました。

また、技術の将来性を確信し、まだ他の企業があまり取り扱いを開始していない早い段階から積極的に取り組み、いろいろな分野にZENMUを活用したソリューションを提供していきたいと考えて販売パートナーにもなりました。

**セキュリティ以外への応用も視野に
パートナーとの連携を拡大**

桔梗原 ZENMU SDKを利用して、ソリューションを開発してみた感想をお聞かせください。

竹之下 APIもシンプルで、ドキュメント類も充実しており、非常に扱いやすい印象です。

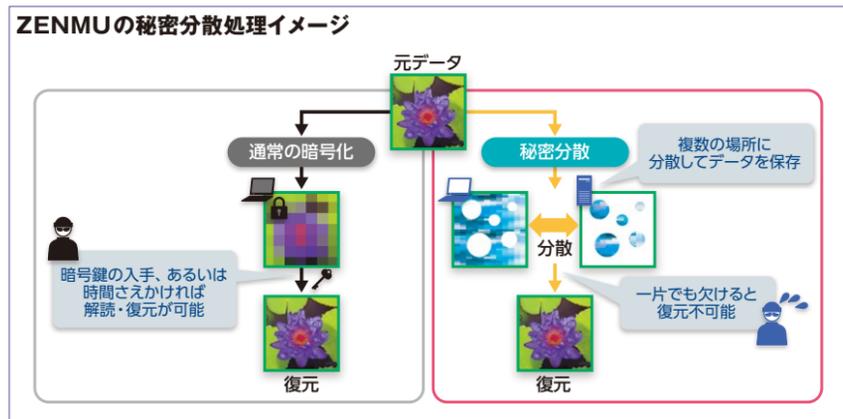
帆足 唯一無二の技術を利用して、自分たちのソリューションに活用できる。利用する側に大きなメリットをもたらす仕組みだと感じています。

森重 汎用性の高い技術だからこそ、様々な可能性がある。私たちの社内では、当社が持つIoT製品やパッケージに活用するといったアイデアも生まれています。これから、様々な領域のパートナーが増えるのではないのでしょうか。

田口 ありがとうございます。今後、パートナー様がさらに拡大すれば、ZENMU SDKをパートナー支援プログラムとして体系化していくことも考えています。そうすれば、ZENMUを活用したサービスやビジネスの開発にも弾みがつくでしょう。

加えて、実は私たちはZENMUの「分散片が出合って初めて意味を持つ」仕組みはセキュリティ以外にも応用できるとも考えています。例えば、認証領域がその1つです。センサーやIoTデバイスにあるデータとクラウド上のデータを照合して、認証キーとして利用することや、オフィスやイベント会場などでの入場・入館などに利用できます。また、ブロックチェーンと組み合わせると、プライバシー保護の部分も担うことも可能です。

当社が持つ技術力とパートナーの皆様の知見と経験を共有し、ビジネスの常識を変えるソリューションを提供し、多くの企業のデジタル変革や安全で暮らしやすい社会の実現に貢献していきます。



暗号化技術は元データが1カ所に保存されており、暗号が解読されるリスクもゼロとは言えない。ZENMUはデータを細かく分割して無意味化する。すべてのデータ片がそろわなければ復元できないため、データ片が流出しても元データを見られる心配がない

お問い合わせ



株式会社ZenmuTech (ゼンムテック)
TEL: 03-5436-6541
URL: <https://zenmutech.com/>
E-Mail: info@zenmutech.com